

里山

かわら版



第3号
2003.03

発行 いわき市
編集 いわき市小名浜金成地区
土地利用計画市民検討会議
発行：平成15年 3月20日

いわき市では、小名浜金成地区において、市街地に隣接な「里山」として再生・保全し、活用するため、市民による土地利用計画の検討を進めております。これまでの検討成果について、お知らせしながら、皆様と一緒に「里山」を考えていきたいと思います。

金成の里SANS

市民参加の段階的整備を提案

市民検討会議会長 中島 紀一

金成地区にある約85haの里山の土地利用計画について、市民検討会議は「市民参加の段階的整備」という提案をまとめました。これは行政があらかじめ決定した設計図に基づいて、施行を業者に委託し、完成した公園を、市民が利用するという従来の公園整備とはまったく異なる考え方です。

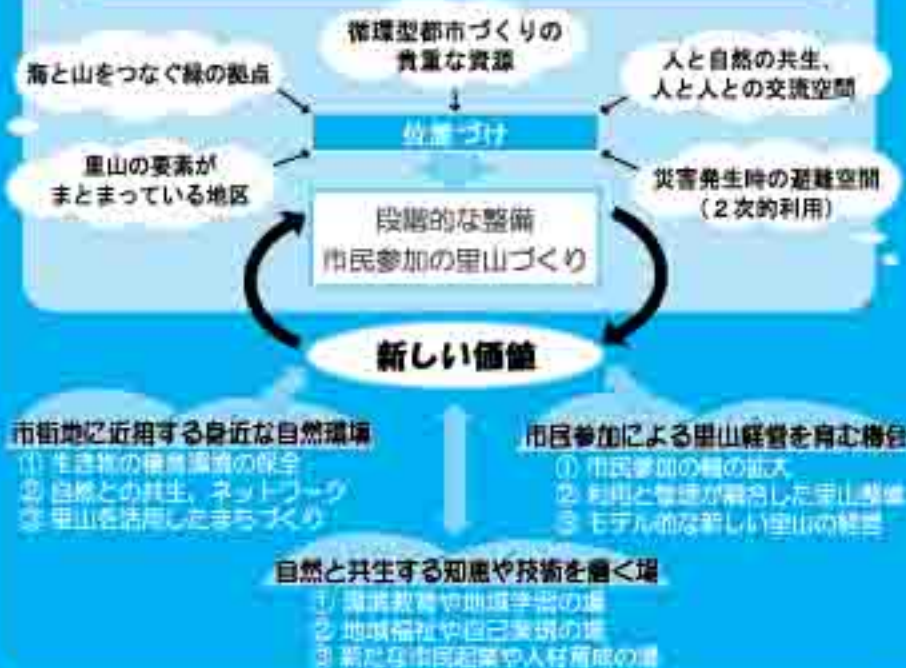
提案ではまず、予定地を単なる公園空間とするのではなく、長い歴史の中で地元の方々が利用管理しながら育ってきた暮らしの場の自然「里山」と位置づけました。そして、土地利用計画の目的を単なる公園整備ではなく、市民参加の新しい里山づくりとしました。

さらに整備計画については、あらかじめ詳細な設計図を作成するのではなく、整備の考え方や方向性を定め、具体的な点については、現地の状況や里山づくりに参加する市民の意見に基づいて一步一步考えながら、確かめながら整備していくという「段階的整備」という考え方を提案しました。

この提案は、市民検討会議のメンバー全員が知恵を出し合いながらまとめたもので、画期的なものだと思えます。21世紀という新しい時代に、市民の手で「自然とともにあるいわき市」を創ろうという提案です。市民の皆さんの幅広いご参加を期待しています。

里山整備のコンセプト

テーマ 里山の新しい価値を創造し、次の世代に伝える



土地利用の骨子がまとまりました！

小名浜金成地区の里山は皆さんの参加のもと、市民と行政との協働により段階的に整備を進めていきます。

段階的な整備

- ① 市民参加で取り組む
- ② 市民の力を活用して、自然と共生
- ③ 自然と共生する里山づくり
- ④ 里山づくりの推進
- ⑤ 土地の活用促進

市民参加の里山づくり

里山に詳しい地元住民、里山の自然の専門家、市民活動団体やNPO、行政、企業など様々な人たちが里山づくりの担い手。

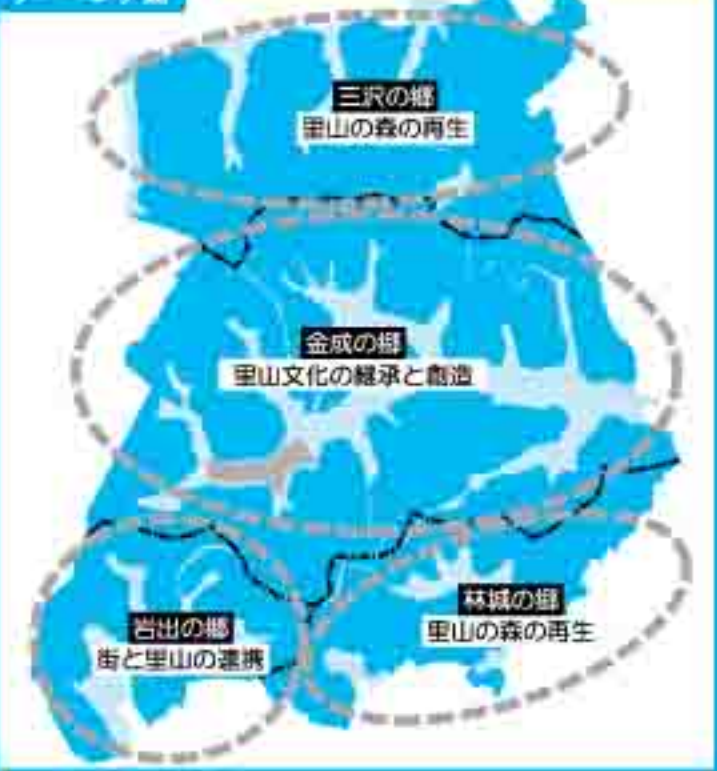
市民が整備活動を進める中で、行政はその活動を支えるために、人的・経済的な支援をする。

市民主体の里山づくりネットワーク
里山づくりの活動を徐々に広げていき、市民参加から市民主体の里山づくりネットワークを創る。

全体の土地利用方針

- ① 里山本来の姿が見える環境
- ② 里山の知恵や技が磨かれる環境
- ③ 効率的な管理運営が図られる空間構成
- ④ 順応的な管理による段階的な里山整備
- ⑤ 活動プログラムの一体的な展開

ゾーニング図



土地利用の方向性

金成の郷

『里山文化の継承と創造』
伝統的な人と里山の関係を継承しながら、新しい里山文化を創造していく場とする。

三山の郷

『街と里山の連携』
コンパクトな里山里山の空間を活かし、街の人が気軽に里山に触れられる場とする。

三沢の郷

『里山の森の再生』

市民参加の順応的な管理により、段階的に時間をかけて里山の森を再生していく場とする。



里山の模型

●ポランティアの手で

里山の再生を

市街地に囲まれた約85haの場所を里山として再生して、市民のために利用できるようにしようという検討が行われておりますが、一日も早く実現することを願っております。

ここには、東西に700m、南北に1200mという広さの中に、雑木林を主とした山林、溜池、小川、谷津田、畑などがあります。このような場所を他に見つけるのは難しいと思います。

今、有志で昔の里山を再生して、そこで市民が安全に気軽に楽しむことができる仕組みをつくらうと取り組んでおります。始めてから1年半になりましたが、森の中で汗を流しながら作業すること自体が楽しみになってきました。理由は作業そのものが自然との付き合い合いになっていくからだと思います。おいしい空気、四季折々の変化、動植物との思わぬ出会いなど、毎回、新しい発見をしております。

現在の場所は、雑木林主体の山で水辺はありません。ここです。これだけの楽しみができるのだから、金成地区ならばと思うと、今からわくわくさせられます。

里山の手入れは奥山の山仕事とは異なり、誰でも体力に応じてできます。四季の変化がありますので、1年の経験を重ねることが望ましいといふことがあります。小学生からできます。手入れされた里山を利用するといふ楽しみもありますが、手入れすること自体のなかに楽しみがいっぱいあります。せっかくの機会ですので、ぜひ市民による手づくりの里山の実現に向けて前進したいと思います。

市民検討会議委員 松崎 和敬

里山のハーブたち



ダンテライオン (タンポポ)

「ハーブって何？」(人間の体に役に立つ香りのある植物です) 金成の里山にもハーブがたくさんあり、タンポポもそのひとつです。早春から花を咲かせ、コーヒーとして利用します。

ビタミン、ミネラル等を含んでいて、古くから疲労回復薬として使われてきました。花後の綿毛を飛ばせて遊ぶのも楽しいですよ。(イラスト・文 宮内 真佐子)

お問い合わせは・・・

いわき市役所都市建設部都市計画課
TEL 0246-22-7510 / FAX 0246-24-4306

里山かわら版編集委員 (宮内・志賀・島海)



里山の風景

スケッチ 富田武子